

# 野洲川『現地見学会』『語り合う会』報告

野洲川グライダー訓練場候補地の『現地見学会』が平成19年7月29日(日)に、『語り合う会』が平成19年8月26日(日)に開催されました。

『現地見学会』は、野洲川河川敷にグライダーを展示して、参加者の方々に見ていただき、アンケートの記入と、ご意見をいただきました。

『語り合う会』は、ファシリテータ進行のもと、参加者の方々が感じられた思いを語り合っていました。

## ● 開催内容及びスケジュール

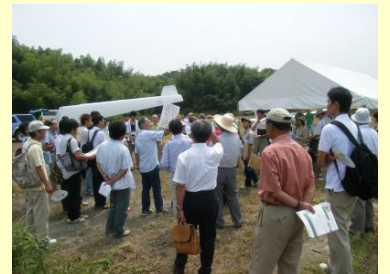
### 『現地見学会』

開催日時 平成19年7月29日(日) 9:45～12:50  
開催場所 説明とアンケート：野洲市中央公民館  
現地見学：野洲川河川敷 川田大橋上流付近(右岸)  
参加者数 26名

- 野洲川の保全と利用の説明
  - ・「河川敷の保全と利用」について説明をしました。
  - ・「グライダー利用」について映像をまじえて説明しました。
- 現地見学(野洲川河川敷 川田大橋上流付近)
  - ・現地に展示したグライダーとウインチ車を見学しました。
  - ・堤防から河川敷に降りて、河川敷の現状を調査しました。
- アンケートの記入
  - ・『語り合う会』のテーマ選定のため、アンケート記入をお願いしました。



展示グライダーの見学(近景)



展示グライダーの見学(遠景)

### 『語り合う会』

開催日時 平成19年8月26日(日) 13:30～16:00  
開催場所 野洲市中央公民館  
参加者数 27名

- 現地見学会の報告
  - ・アンケート結果の報告と、現地見学会で寄せられた質問の回答をしました。
- 『語り合う会』での対話
  - ・アンケート結果から以下の3つのテーマを取り上げました。
    - テーマ①：候補場所の選定理由について
    - テーマ②：安全性について
    - テーマ③：環境影響について
  - ・テーマごとに説明をしたのち、参加者から意見発表をしていただき、参加者相互の意見交換をしました。
- ファシリテータまとめ
  - ・参加者の方々に語り合っていた論点を整理し、確認しました。



語り合う会 全景

■別紙に『野洲川グライダー訓練場候補地「語り合う会」意見のまとめ』がありますのでご覧ください。

# 野洲川「現地見学会」「語り合う会」写真集

## 現地見学会



野洲川の保全と利用の説明



現地見学(矢田樋門付近)



展示グライダーの見学



現地見学(野洲川河川敷)

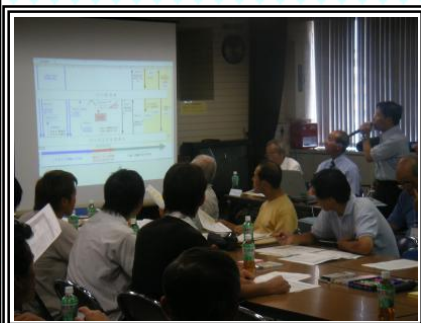


ウインチ車の見学



アンケートの記入

## 語り合う会



現地見学会の報告



対話テーマの情報提供



発言者相互の語り合い



意見とりまとめ



参加者との意見交流



語り合う会 全景

☆『第15回河川保全利用委員会』開催のお知らせ ☆

第15回河川保全利用委員会が下記の日程で開催されます。当委員会は傍聴することができます。

日時：平成19年10月4日(木) 午前9:30～12:30

場所：野洲市中央公民館 第2講座室

★ お問い合わせ ★

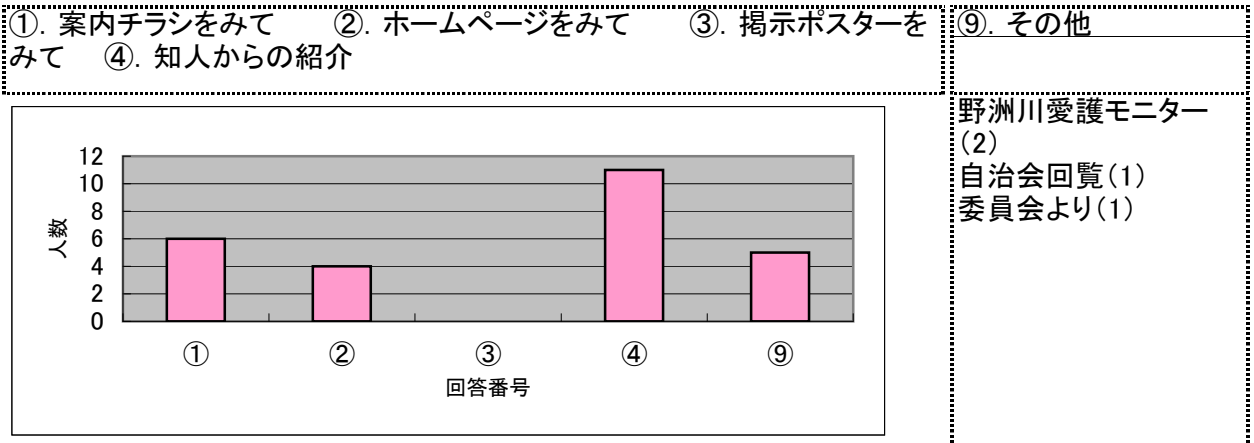
琵琶湖河川事務所 占用調整課内  
「現地見学会」「語り合う会」係 担当 森松  
〒520-2279 滋賀県大津市黒津4-5-1  
TEL 077-546-0844 FAX 077-546-6840

## 『現地見学会』アンケート集計結果

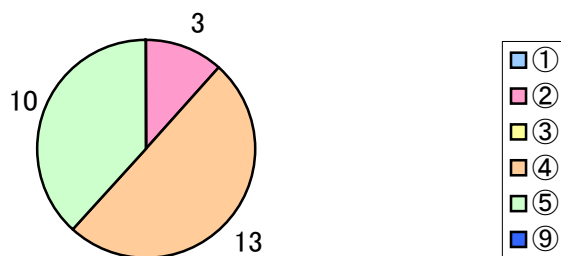
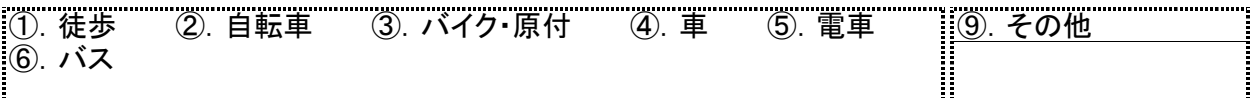
平成19年7月29日開催の「現地見学会」で参加者のみなさまにご協力いただいたアンケートの集計結果です。このアンケートは、「語り合う会」の参考資料として作成しているもので、数字の大小による判断に用いるものではありません。

1. 「現地見学会」のご参加の方に野洲川の利用について、お聞きします。  
本日の「現地見学会」を含めて野洲川全般の内容について、お聞かせください。

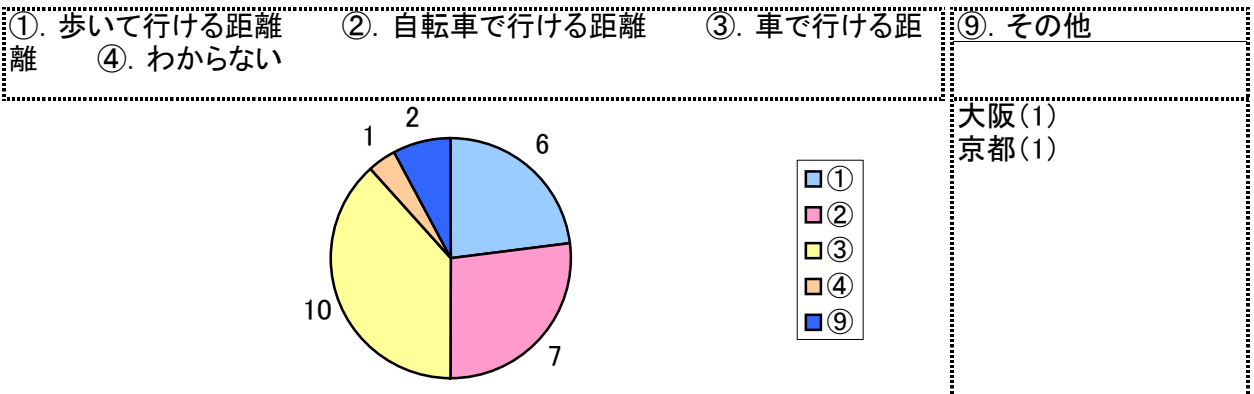
質問1 本日の「現地見学会」は何を見て参加されましたか。(複数回答可)



質問2 ご自宅から、野洲市中央公民館まで来られた、おもな交通手段を教えてください。

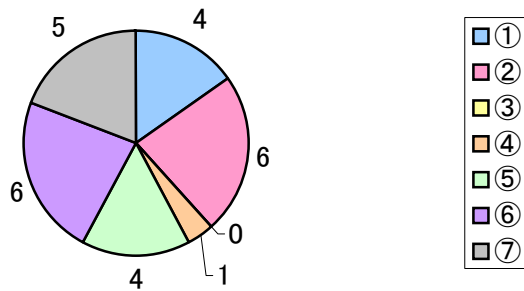


質問3 ご自宅から、見学会現地場所である川田大橋付近までの距離はどのくらいですか。



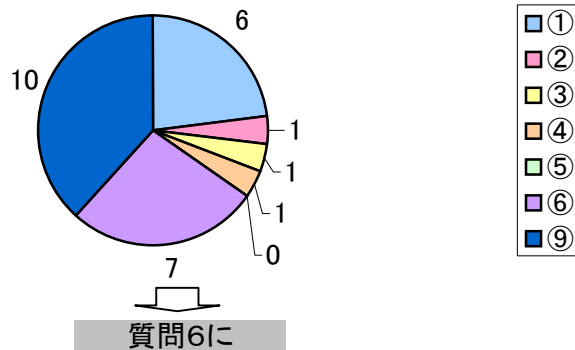
質問4 あなたの年齢は何歳でいらっしゃいますか。

- ①. ~20歳    ②. 21~30歳    ③. 31~40歳    ④. 41~50歳    ⑤. 51~60歳  
 ⑥. 61~70歳    ⑦. 71歳~



質問5 野洲川の利用頻度(堤防・河川敷を含めて)は、どの程度ですか。

- ①. ほぼ毎日    ②. 週に2、3回    ③. 週に1回    ④. 月に2、3回    ⑤. 月に1回    ⑥. 年に数回    ⑨. 利用しない

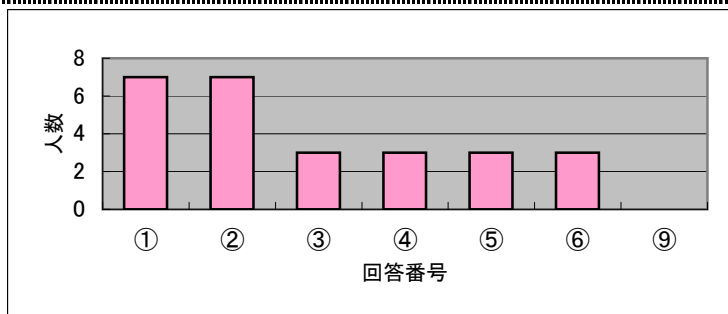


質問6に

質問8に

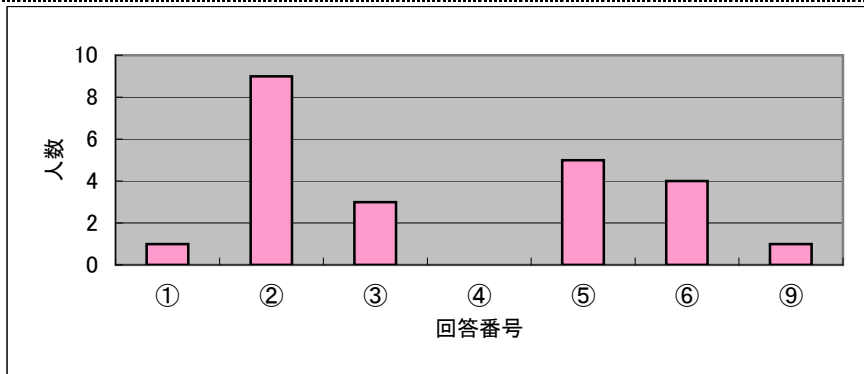
質問6 質問5で野洲川の利用をされている方にお聞きします。利用される施設(堤防・河川敷を含めて)は、どのような内容ですか。(複数回答可)

- ①. 公園、緑地又は広場の道路    ②. 運動場等のスポーツ施設    ③. 堤防上の遊歩道    ④. 遊歩道    ⑤. 親水施設(川遊び・魚釣りなど)    ⑥. 環境調査(動植物観察など)    ⑨. その他



質問7 野洲川の利用の理由(堤防・河川敷を含めて)は、どのようなことですか。(複数回答可)

- ①. 駅から近い ②. 家から近い ③. 駐車場がある ④. 駐輪場がある ⑤. 自由に使用できる ⑥. 整備された施設 ⑦. 利用料金が安い ⑨. その他



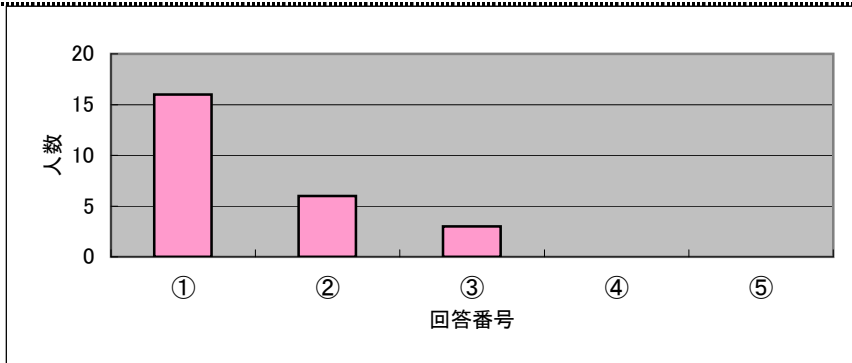
自然環境が豊かなところがまだのこっている…。(1)

2. 次回の「語り合う会」のご参加についてお聞きします。

次回の「語り合う会」は、みなさま方からご意見を発表していただき、進行役(ファシリテータ)の進行により、ご意見を整理しながら議論を深めたいと考えています。「語り合う会」へのご参加についてお聞きかせください。

質問8 次回の「語り合う会」の参加を願うことができますか。

- ①. 参加する ②. 参加する予定である ③. わからない ④. 参加は難しい ⑤. 参加できない



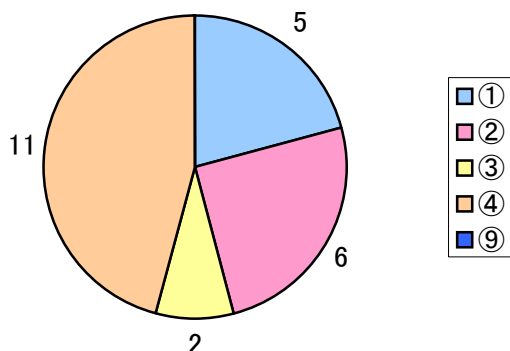
質問8の回答なし 1名

質問9 「語り合う会」では、多くの方から、ご意見をお話いただきたいと考えていますが、ご意見をお話いただくことは可能ですか。

- ①. 意見を話すことはできる ②. 場合によっては話してもよい ③. 傍聴者席から話をしたい ④. 傍聴者として参加し、意見を聴きたい ⑨. その他

質問9で、ご意見のお話をいただける方は、のちほど、事務局から連絡を差し上げますので、ご氏名または参加番号をご記入願います。

記入欄 ご氏名(参加番号)

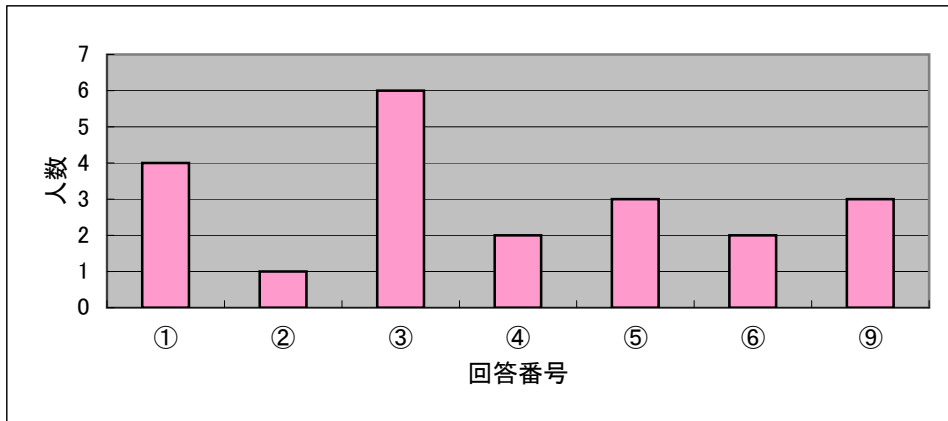


質問9の回答なし 1名

「ご意見をお話いただける」を選択された参加者は13名おられましたが、ご氏名を確認できた方は10名でした。

質問10 「語り合う会」でお話いただける内容はどのようなことですか。(複数回答可)

- ①. ここを選んだ根拠について ②. 施設規模について ⑨. その他  
 ③. 河川敷の環境影響について ④. グライダーの安全性について  
 ⑤. 飛行の影響について  
 ⑥. グライダー訓練場の利用方法について

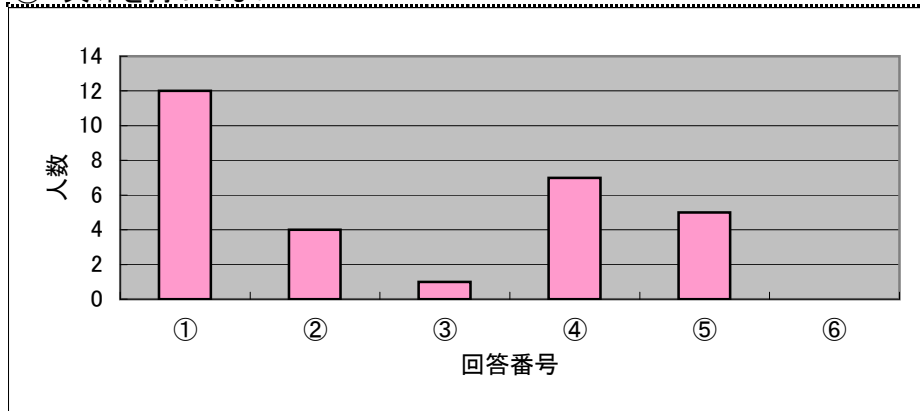


是非グライダーがとべる様にしてもらえれば  
 (1)  
 経費に関すること(1)  
 その他欄未記入(1)

3. グライダー訓練場候補地でお感じになった点をお聞きます。  
 本日の「現地見学会」で、グライダーを展示してグライダー施設を説明させていただきましたが、どのように感じたかをお聞かせください。

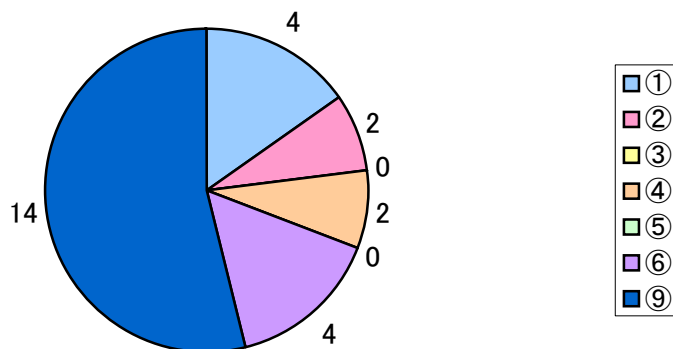
質問11 グライダーについて、どの程度ご存知でしょうか。(複数回答可)

- ①. グライダーで飛行したことがある ②. 飛行したことはないが飛行の原理を知っている ③. 興味があり勉強してみたい  
 ④. グライダーの実物をはじめて見た ⑤. 内容は良く知らない  
 ⑥. 興味を持ってない



質問12 グライダー訓練場候補地(川田大橋上流付近)の河川敷に、来られる頻度は、どの程度ですか。

- ①. ほぼ毎日 ②. 週に2、3回 ③. 週に1回 ④. 月に2、3回 ⑨. 利用しない  
 ⑤. 月に1回 ⑥. 年に数回

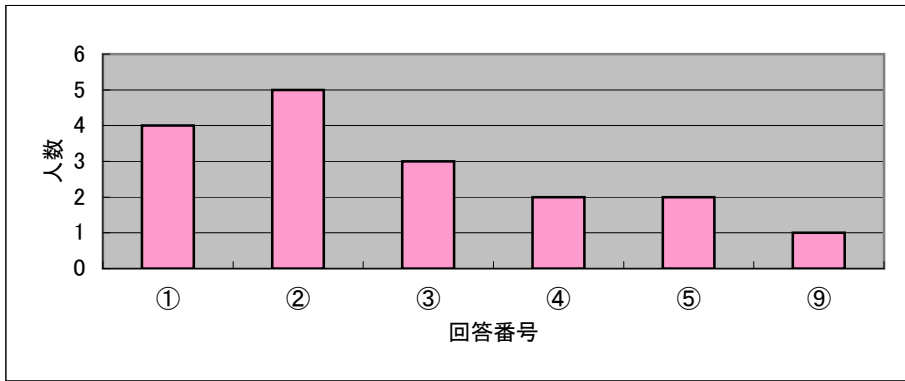


質問13に

質問14に

質問13 質問12で「来られる」と回答をいただいた方にお聞きします。来られた目的は、どのようなことでしたか。(複数回答可)

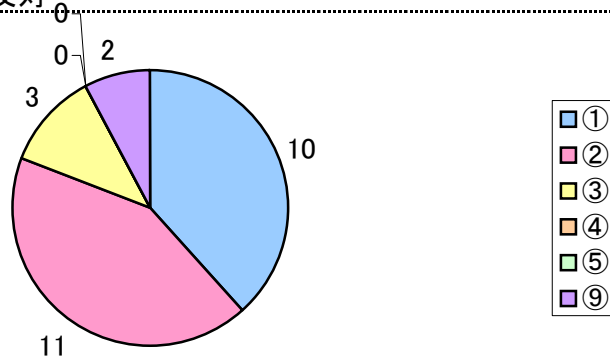
- ①. 徒歩・自転車での通行 ②. 散歩・ジョギング ③. 川遊び・魚釣り ⑨. その他  
④. スポーツ利用 ⑤. 環境調査



犬の散歩(1)

質問14 グライダー訓練場が設置されることをどう思いますか。

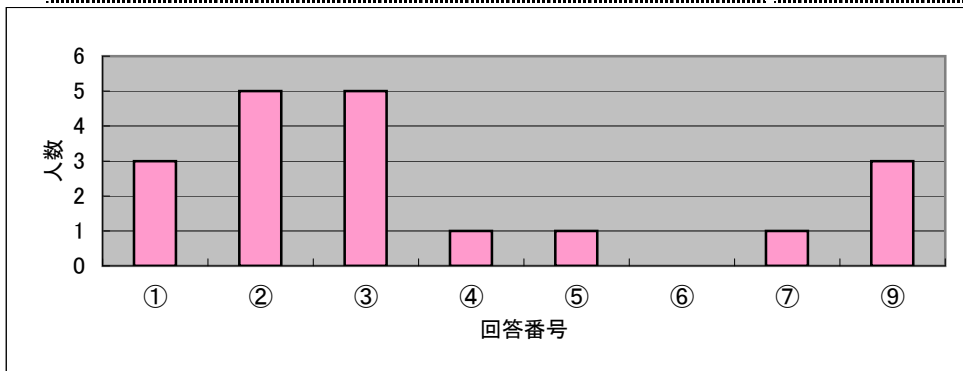
- ①. どちらかという賛成 ②. 条件を満足すれば賛成 ③. 本日の説明と資料のみでは判断できない ⑨. その他  
④. 条件を満足しないので反対  
⑤. どちらかという反対



絶対反対(2)

質問15 質問14で「条件を満足すれば賛成」と回答された方にお聞きします。解決すべき条件はどのような内容ですか。(複数回答可)

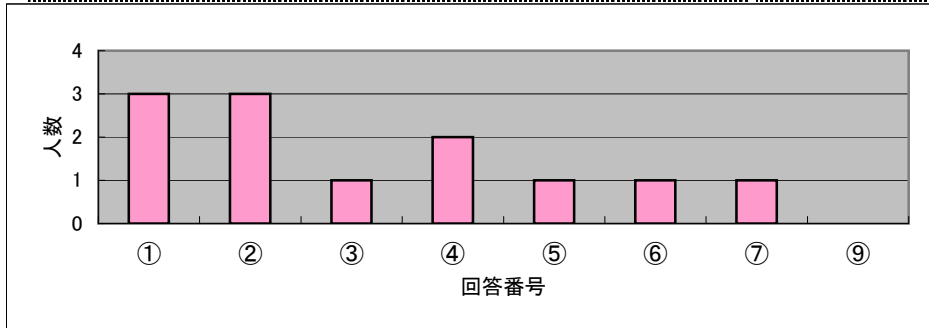
- ①. 上空を通る影響範囲や利用方法による交通渋滞の横断支障 ②. 墜落の危険性 ③. 整備 ⑨. その他  
④. 動植物への影響 ⑤. 利用 ⑥. 堤防の通行支障 ⑦. 河川敷



地元住民の不满(1)  
エンジン音が許容範囲であれば(1)  
ゴミ処理、炭酸ガス排出削減(1)

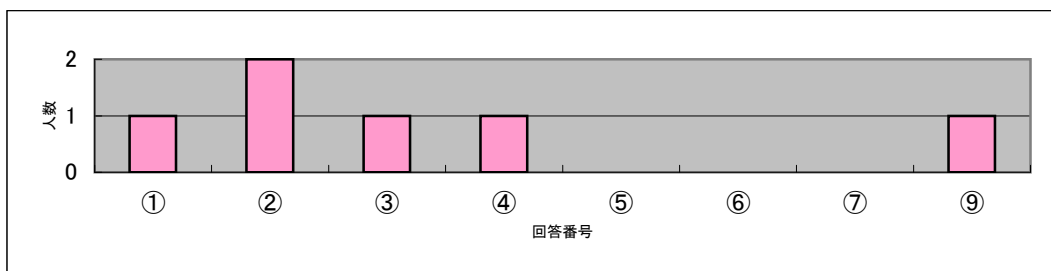
質問16 質問14で「判断をできない」と回答された方にお聞きます。判断に役立つと思われる情報提供項目は、どのような項目ですか。(複数回答可)

- |   |            |        |        |
|---|------------|--------|--------|
| ①. 上空を通る影響<br>範囲や利用方法<br>による交通渋滞<br>の横断支障 | ②. 墜落の危険性  | ③. 整備  | ⑨. その他 |
|   | ④. 動植物への影響 | ⑤. 利用  |        |
|   | ⑥. 堤防の通行支障 | ⑦. 河川敷 |        |



質問17 質問14で「条件を満足しないので反対」と回答された方にお聞きます。解決すべき条件はどのような内容ですか。(複数回答可)

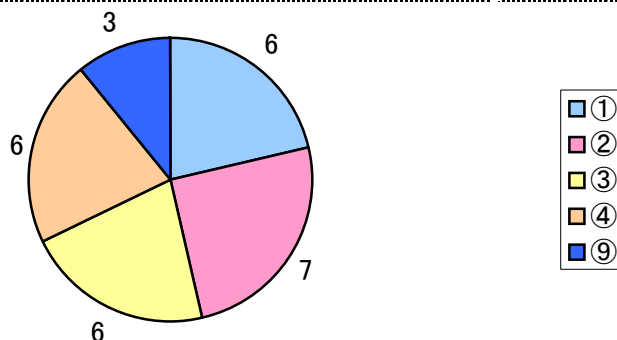
- |   |            |        |        |
|---|------------|--------|--------|
| ①. 上空を通る影響<br>範囲や利用方法<br>による交通渋滞<br>の横断支障 | ②. 墜落の危険性  | ③. 整備  | ⑨. その他 |
|   | ④. 動植物への影響 | ⑤. 利用  |        |
|   | ⑥. 堤防の通行支障 | ⑦. 河川敷 |        |



次世代エネルギーの栽培地(化学肥料に変わる)(1)

質問18 この場所は、グライダー訓練場以外の利用をするとすれば、どのような利用がよいと思いますか。

- |              |                  |        |
|--------------|------------------|--------|
| ①. 現状のままでよい  | ②. 緑地で整備するのがよい   | ⑨. その他 |
| ③. スポーツ施設がよい | ④. 水辺利用を進める整備がよい |        |



現状のままで緑地公園(1)  
堤防は「遊歩道」にしたり  
リム運動を取り入れること(1)  
自然環境重視の利用(1)

重複回答されている方あり。

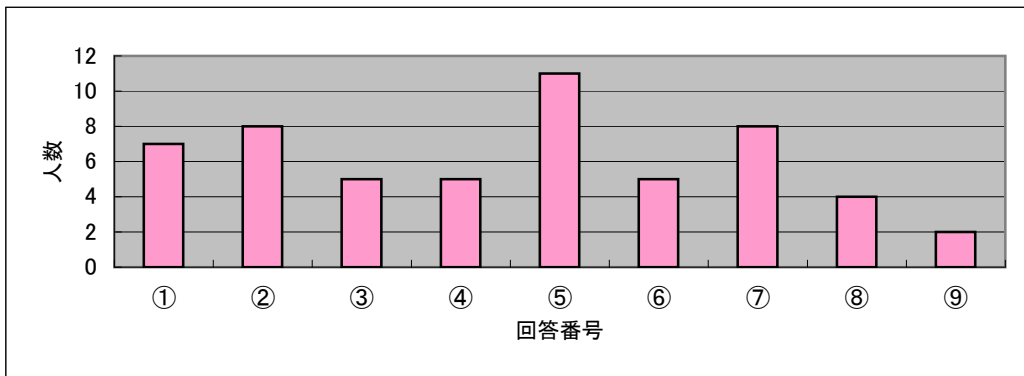


4. グライダー訓練場候補地についてお聞きします。

現行の基準では、「グライダー施設」は、次のとおりの施設とされています。  
 「周辺環境に影響を与える施設で、市街地から遠隔にあり、かつ、公園等の他の利用が阻害されない河川敷地に立地する場合に、必要最小限の規模で設置が認められる施設」  
 本日の「現地見学会」でご案内した場所は、現行の基準から見ると、どのように感じられたかをお聞かせください。

質問19 グライダー施設は、「周辺環境に影響を与える施設」と位置づけされていますが、「周辺環境に影響を与える」と感じられる内容は、どのようなものですか。(複数回答可)

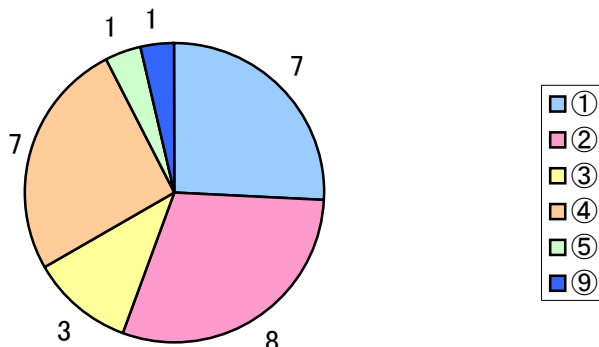
- ①. 広い面積の利用 ②. 上空の飛行 ③. 動植物への影響 ④. 騒音の影響 ⑤. 河川敷の立入規制 ⑥. 人が集まることによる環境悪化 ⑦. 水遊び・釣り人への威圧感 ⑧. 影響を与えることで思いあたることはない ⑨. その他



住宅環境の悪化(1)  
なし(1)

質問20 この場所は、「市街地から遠隔」と見られる場所ですか。

- ①. 遠隔の場所である ②. どちらかといえば遠隔の場所である ③. どちらかといえば市街地近郊である ④. 市街地近郊である ⑤. わからない ⑥. その他

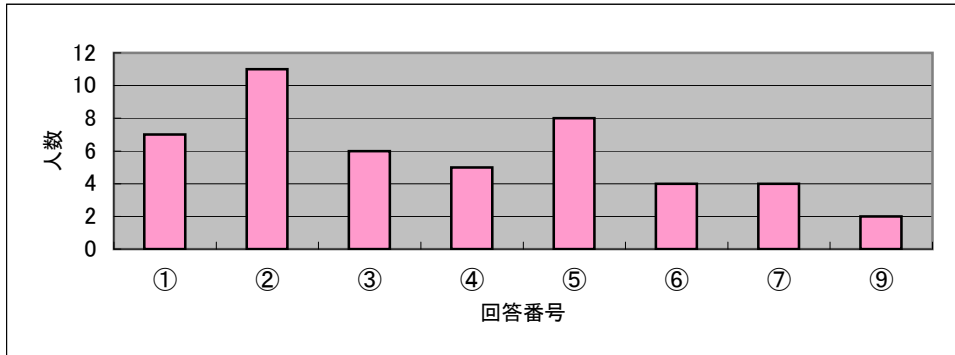


重複回答されている方あり。

守山・野洲市街に物理的に近い。(1)

質問21 この場所で、「公園等の他の利用が阻害される」と感じられる内容はどのようなものですか。(複数回答可)

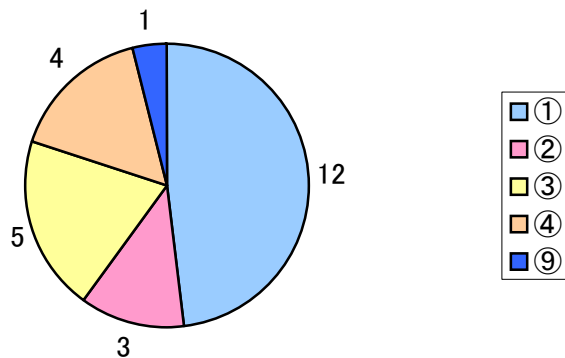
- ①. 堤防通行支障 ②. 散歩 ③. 自転車通行 ④. 釣りに影響  
 ⑤. 川遊びに影響 ⑥. 他の利用で阻害されるものは考えられない  
 ⑦. わからない ⑨. その他



なし(1)  
環境(1)

質問22 利用規模は、「必要最小限の規模」とありますが、利用規模について、どのように感じましたか。

- ①. 利用内容から見て適切な規模である ②. 利用内容から見て大きな規模の利用である ③. 他の利用計画がないのであれば利用してよい規模である ④. 本日の説明だけでは判断できない ⑨. その他



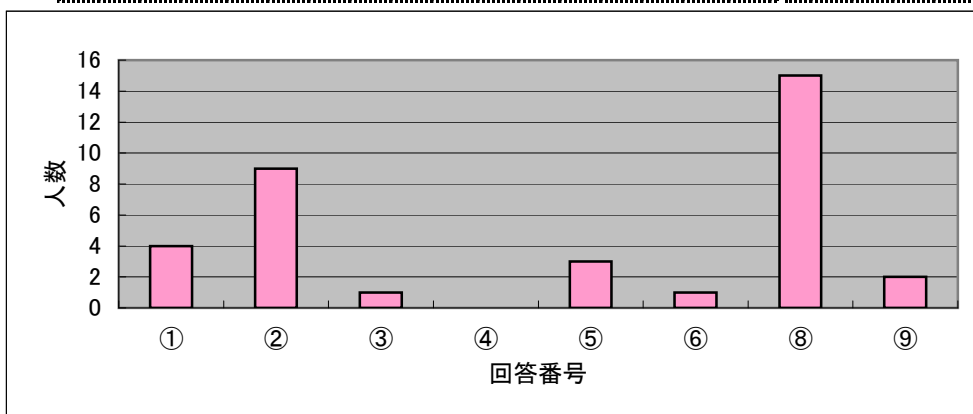
説明以前の問題(1)

5. 本日の説明や配布資料についてお聞きします。

情報提供として、本日の進め方や配布資料の内容についてお聞かせください。わかりにくいと感じられた内容は、次回の「語り合う会」で説明の準備をいたします。

質問23 本日の説明で不十分(分かりにくい説明を含め)であると感じられた内容がありましたか。(複数回答可)

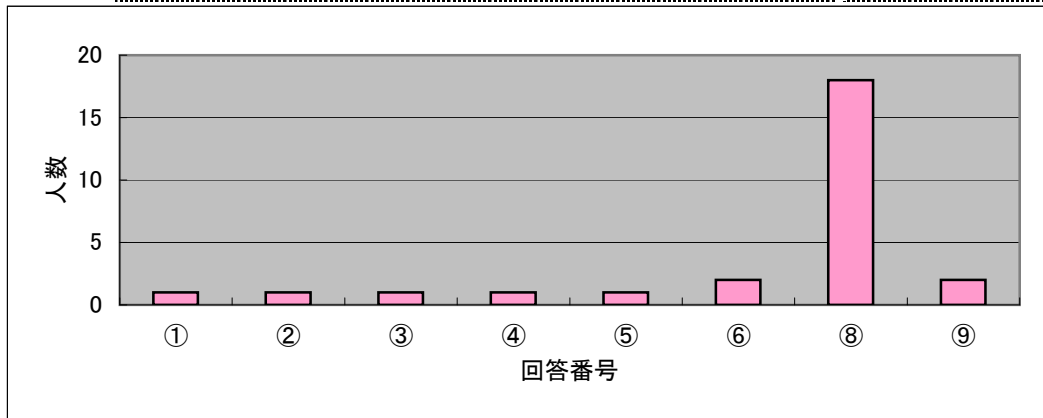
- ①. 河川利用について ②. 河川敷地の整備方法 ⑧. 分かりにくい説明は特になかった ⑨. その他  
 ③. グライダー飛行方法 ④. グライダー組立て方法  
 ⑤. 訓練場利用計画 ⑥. グライダーの飛行範囲



わかりにくい全て(1)  
その他欄未記入(1)

質問24 本日、お渡しした資料でわかりにくい資料がありましたか。(複数回答可)

- |                 |                 |                    |        |
|-----------------|-----------------|--------------------|--------|
| ①. 河川利用について     | ②. グライダー飛行資料全般  | ⑧. 分かりにくい資料は特になかった | ⑨. その他 |
| ③. グライダー飛行ビデオ映像 | ④. グライダー訓練候補地地図 |                    |        |
| ⑤. グライダー飛行範囲図   | ⑥. 訓練場利用計画      |                    |        |



具体的に滑空場予定において自然環境の保護に関する資料(1)飛行に関する法的規制(1)

質問25 本日のグライダー訓練場の説明で、心配になったこと、追加の情報提供をしてほしい事項があればご記入ください。

【心配な事項】

- ・安全性、河川敷利用に関して、他の利用 例えば(川田橋⇄三共農業までのプロムナードに支障しないか)
- ・あくまで訓練場であるので、飛行失敗したときが心配。
- ・住民感情が心配です。
- ・利用頻度はどれくらいになりそうか。(年間毎日位)
- ・環境アセスメント、生物への配慮がまったく無いですが、必要性は無いのでしょうか。
- ・安全性
- ・土地がカーブしているため、ワイヤーが川に入ることになる。この影響は？
- ・墜落の危険性、ウィンチ落下の危険性、ウィンチの騒音

【追加の情報提供事項】

- ・野洲市民の意識調査(賛成OR反対)をして提出して欲しい。
- ・環境保全のうえから、開発にならないか。
- ・河川敷地の整備について(草刈のみ、整地ありか)
- ・水辺の国勢調査(動植物)の調査結果
- ・旭化成、チッソポリプロ等の上空を飛びますが、両社意見はどうですか。(特に墜落の危険性について)

ご意見・質問事項がありましたらご記入ください。

【自由記述欄】

・一部の人のために、住民として危険にさらされたくない。近くに化学工場等があり、大変危険である。他にふさわしい場所を探せば良い。また静かな環境の場所が騒がしくなる。

・許可に反対される方は、どのような理由をお持ちなのか(具体的なデータ資料を用いて意見を伺いたいと思う。)木曽川滑空場の見学会を行い、実際の合宿を見るべきだと思う。

・ラジコン/ヘリコプター/パラグライダーの飛来があります。雲の上での安全確認、安全確保など交通整理はどのようにされるのでしょうか。

・私が野洲川を見た感想ですが、普段訓練している木曽川と周辺状況はとても似ていると思いました。木曽川では整備等しっかり行っているの、野洲川に対しても悪影響はないと思います。私たちも環境等気をつけて利用したいと思っています。

・河川保全利用委員会の委員に「レジャー研究」の学識者加えるといいですね。

・グライダー訓練地ができることによって、利益があるのはどれくらいの学生ですか。人数、範囲などが知りたいです。

・なぜ、ここでなければならないのか。

・国家財政の赤字、地球温暖化などをふまえた河川の利用アイデアは何でしょうか。

・今年8月末より住宅の造成が始まり、約40軒(1期、2期工事合せて)の新しい住宅が河川に沿って建つ予定です(川田町)。住宅地、化学工場の上空を飛ぶのは絶対反対です。

# 野洲川グライダー訓練場候補地「語り合う会」意見のまとめ

別紙 その1

## テーマ①: 候補場所の選定理由について

### ◆施設の選び方は良いか

#### 施設場所は十分な広さがあるか

- ・野洲川は、川の横幅が狭いと思うが場所としてよいのか。
- ・滑走路の面積は同じでも、木曾川、大野、妻沼と比べて川幅は大幅に狭い。
- ・野洲川は曲がっているが、大丈夫であるのか。
- ・安全に飛行できる広さとして幅50m、長さ1000mを確保したい。

#### 支障物に対して安全な場所か

- ・JR線は支障とならないか。
- ・高圧線は支障とならないか。
- ・飛行範囲にある交通網や住宅は問題ないのか。
- ・野洲川は広いが、川以外の上空も飛ぶ。

#### 気象条件から見て良い場所か

- ・他の滑空場とは気象条件が違うのでは。
- ・1000m以上の高度では、場所による違いがあるが、低い高度では気象の条件は同じである。

### ◆利用しやすい場所か

#### 近くて便利な場所である

- ・関西の学生にとって移動距離が短くなるので費用面でのメリットが大きい。
- ・木曾川滑空場まで2~3時間かかるので野洲川に滑空場が出来ると非常に助かる。
- ・学生の学業との両立を図るために、この場所にほしい。
- ・関西の学生として、大学から近くに滑空場が出来るとはうれしい。
- ・車で移動する際の事故が多い。近くに滑空場がほしい。

#### 遠い場所で苦労してはどうか

- ・学生のクラブ活動は、苦労しても遠くへ行くべきである。山岳部やスキー部はもっと遠くへ行っているのではないか。
- ・山岳やスキーのように夏、冬など限定されたスポーツと違い、グライダーは通年練習をしないと安全が向上しない。
- ・学生は苦労をすべきだということは日頃から言っている。
- ・現在の学生は、平日に学校に必ず出席しなければならず、学問の面や金銭面からかなり苦労を強いられている。少しでも学生の苦労が軽減するように関西に滑空場を作る努力をしている。
- ・最近の学生はどうも楽をしようとしている気がする。もっと苦労に苦労を重ねて大人になってほしい。
- ・学校の授業に差し支えない距離として、大阪から100km範囲内で選定をした。

### ◆都市化が進んでいる場所である

#### 近年、住宅が増えてきている

- ・野洲川周辺は、関西有数のベッドタウンで人口は増えつつきている。

## テーマ②: 安全性について

### ◆事故が心配である

#### 努力や理由はわかるが違う場所で

- ・危険はどこにでも潜んでいる。グライダーに事故はつきもので訓練しているが、近隣住民への被害は発生させてほしくない。
- ・住民の方々が安全性について心配されるのは当然であるが、グライダーに乗るパイロットは安全性を重視している。
- ・努力はされているが事故は起こる。野洲川周辺の民家の上は飛んでほしくない。
- ・グライダーをすることは悪くないが野洲川ではしてほしくない。
- ・事故はまた必ず起きる。もっと人の少ないところへ行ってもらいたい。

#### 人命への危険性は

- ・安全が一番に思っているのは飛ぶ人である。
- ・地元は安全に対して危惧している。
- ・野洲川は、近くに民家があるが第三者への危険はないのか。
- ・人の教育を第一に大切にしている。「エアーマンシップ」を教え込む)また、訓練は万一のことを想定して実施する。今までに、第三者への危害は記録されていない。
- ・学生の夢もわかるが、人の命も心配である。

#### 設置しても良い条件は

- ・安全と環境が破壊されず、持続可能な環境が保たれるのなら、学生に来て欲しい。
- ・農業の散布の無人ヘリコプターの事故があった。グライダーは安全を重視した活動をして欲しい。

### ◆事故の原因は何か

#### 事故情報が周知されていない

- ・想定外の事故があるのでは。
- ・仙台で起こった事故の理由はわかっているのか。
- ・事故原因の発表はまだ行われていない。
- ・曳航索安全装置が上昇時に切断されパニック状態になった。
- ・ホームページに載っている事故の様子を見て欲しい。グライダーに対する不信感が出てくる。

#### 操縦ミスの原因は

- ・墜落に対応する練習で実際に事故が起こり死亡した例もある。
- ・事故原因は、ほとんど(98%)が機長のミスとなっている。

### ◆免許取得年齢は

#### 16歳で免許が取れるのか

- ・14才から練習が出来る。
- ・パンフレットの団体に高校生が入っている。
- ・我々の団体は、高校生は所属してなく、大学生のみである。
- ・16歳から免許がとれるので驚いている。
- ・免許は、国家資格で技能証明と身体検査が必要。

### ◆安全な飛行の努力をしている

#### 事故防止の訓練とは

- ・グライダーの日常的な訓練が安全性を高める面で重要である。
- ・事故を知って、飛ぶことが怖くなるが、練習を繰り返すことで、危険を回避している。
- ・事故を起こさないように、常に最大の努力をしている。
- ・失速のトレーニングにより、防がれた事故はたくさんある。
- ・グライダーに乗るのも自分の命に関わるので、皆が思う以上に安全対策に対するレクチャーを受けている。(サブGの対策)

#### 安全基準はあるのか

- ・グライダーにGPSは必要なのか。
- ・遠くへの飛行の際はGPS携帯を持つ。普段は無線により安全確認を行っている。
- ・安全、安心を得るための安全マニュアルはあるか。
- ・事故が防止のマニュアルを作成したが事故が、また発生した。対策を行ってもきりが無い。
- ・100%の絶対的安全はいえないが、100%に近づけるべく全員で努力し飛行している。
- ・学生および教官は常に安全を最優先に行動し、その理由についても一つ一つ理解するようにしている。

#### 事故の補償はあるのか

- ・グライダー事故が生じたら、どこが責任を持ち、補償するのか。
- ・不測の事態が発生したサポートは、連盟と朝日新聞がおこなう。

### テーマ③: 環境影響について

#### ◆動植物への影響は

##### 動植物への影響は

・鳥や虫はどこへ行くのか。

##### 利用時の整備内容は

・滑空場はどのような整備をするのか。

・使う場所は、草刈りをする。

・川の中の木は安全上切らなくてよいのか。

・河川敷は切るが、河川の中の木を切る必要はない。

#### ◆利用が増える影響は

##### 見学者の増加対策は

・進入路はどう考えているのか。

興味を持った人が車を止めて見学すると交通渋滞がさらに悪化する。

##### 利用者のゴミ対策は

・ゴミの発生に対する対応は

・滑空場を歩いて、使用後にゴミ拾いを行う。

#### ◆広い範囲で環境を考えて

##### 環境保全型の利用を

・グライダーは、新河川法の「親水」から遊離しているのではないのか。

・野洲は自然と都市が存在する場所であり、この環境を守り続けていきたい。

・川は川らしく利用する方向で、人工のグライダーは不要。

##### 大きな視点で河川利用を

・商業利用よりも持続可能な環境保全型の有効利用を望みたい。

・野洲川右岸は、親水、例えばプロムナード(遊歩道)など、緑と水に親しむ環境保全型の利用が必要である。

・目の前の水環境だけでなく、水域全体として広い視点で上流・下流のことも考えてほしい。

### その他

#### ◆グライダーに乗る人の思い

##### グライダーに乗る目的は

・グライダーは趣味の領域ではないか。

・学連は、趣味の団体ではなく、公益法人である。

・卒業後の人間的成長が大きい。

・団体生活での経験が今後の人生で活かせる。

・グライダーは体育会系の部活動であり、団体行動での規律を身につけることが出来た。

##### 学業との兼ね合い

・昔の学生は、平日に休みを取ってグライダー飛行をしていた。現在は、平日には必ず学校に出席し、休日に練習を行っている。そのため、学問との両立で苦労している。

・就職で航空系の職に就く人は少ない。

・学業との兼ね合いや機体の日頃からの管理もあり、他の部活に比べてもかなり苦労している部活である。

・卒業生でパイロットとして活躍している人もいるし、航空関係の仕事につく人もいる。グライダー経験を生かしている場合もある。

##### 親は心配していないか

・事故発生などのニュースを聞き、親も心配するので、きちんと話し合いをして、納得してもらっている。

・初めは親や自分自身心配していたが、安全性に対する説明を監督や先輩からしてもらい、その話を親に説明して納得してもらっている。

#### ◆地域の伝統と発展

##### 地域の伝統を守りたい

・市三宅は、年貢の取り立てを始めた歴史と伝統のある町である。また、東西交通の要所である。上空を人工物に飛んでもらいたくない。

##### 地域活性化となる利用は

・滑空場が地域の活性化になるというのは希望的予測ではないか。

・中学・高校生に新しい夢を与える。

・30人×150日の人たちが集まれば、まちづくりと活性化につながる。

・滑空場として占有する学生に、地域を学んでもらう。

・滑空場として利用することで、河川を学べる良い機会となる。

・初めて飛んだ土地は愛着が生じる。

・グライダー滑空場が出来れば、もっと多くの人にグライダーの興味を持ってもらえる。

#### ◆滑空場の今後の運用

##### 滑空場の利用方法は

・野洲川が出来れば他の滑空場から利用者が流れてくるのか。

・他の滑空場と野洲川の滑空場を併用する。

・住民から飛行せず地上訓練のみといわれたらどうするのか。

・飛ばないことには意味がない。

・毎年、グライダーの大会が行われており、他の支部は滑空場があるが、関西は滑空場がないため、十分な練習が行えない。

##### 使用しない期間の利用方法は

・占有許可されたときには、滑走路を地元のイベントに使用したい。

#### ◆対話集会の開催

##### 開催の周知方法はよかったか

・「語り合う会」とか「見学会」の案内が地域住民に十分伝わっていない。自治会幹部で止まっている。

・手続きが形式的であるので、住民まで情報が伝わるように、情報提供を行政とともに十分やるべきである。

・守山の川田町へは自治会長まで話に来ていない。説明する順番が違うのでは。

##### 開催してよかったこと

・訓練場設置の要望を学生から直接聞いたのはよかった。熱い気持ちが伝わってきた。

・賛否を白紙で判断できるいい機会だった。

##### 過去にされたグライダーの話

・7年前にグライダーの話は聞いていたが、話し合いもなく話は無くなったと思っていた。

・7年前から話があるにも関わらず、これまで広報誌には何も載っていない。自治会長は、今年になって訓練場の話を聞いてたと言っている。

・7年前から話が出ているということには驚いた。

・地元の市役所に話がいつているのか。

・7年前に旧野洲町へ話しをしている。平成12年に守山市(議会)に説明。